

# 第2次豊後高田市総合計画（改訂版）

## 第5部

### 第2期豊後高田市

#### まち・ひと・しごと「活力」創生プラン

このまちに確かな未来を～地域の活力は『人』～

（人口減少対策・地方創生のための重点戦略プロジェクト）

#### <目次>

第1章 重点戦略プロジェクト（第2期豊後高田市まち・ひと・しごと「活力」創生プラン） .....	256
Ⅰ ひとを育み活力創生 .....	257
Ⅱ ひとを大事に活力創生 .....	259
Ⅲ ひとを呼び込み活力創生 .....	260
Ⅳ 仕事をつくり活力創生 .....	261
Ⅴ 基盤を整え活力創生 .....	262

# 豊後高田市 まち・ひと・しごと 「活力」創生プラン 人口減少対策と地方創生のための重点戦略プラン

「地域の活力は人である」との考えを市政推進の基本に据え、このまちに確かな未来を創るために、1期創生プランの効果検証を踏まえ、国や大分県の基本方針との整合も取りつつ、1期で得られた効果のさらなる拡大、解決すべき課題への着実な対策、社会動向に応じた対応を総合的及び横断的に展開し、重点戦略プロジェクトとして推進します。

## 大目標 このまちに確かな未来を～地域の活力は『人』～

### I ひとを育み活力創生

#### 取組みの方針

全国トップレベルの子育て支援を継続し、ライフステージに応じた結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を行います。  
さらに、市の未来を担う子どもの教育をさらに充実します。

#### 目指す目標

- ①より多くの人の子育ての希望が叶えられる
- ②児童生徒が知・徳・体を育み、Society5.0（ソサエティー5.0）社会に対応する力を身に付ける

#### 数値目標

- ①合計特殊出生率  
1.83（2025年）  
（2020-2024年の平均）
- ②教育関連事業の目標値  
児童生徒の学力 外6指標  
（2024年度）

### II ひとを大事に活力創生

#### 取組みの方針

いつまでも健康で長生きしましょう！を合言葉に、健康なまちづくりを市民総ぐるみで強力に推進します。

#### 目指す目標

より多くの人々の健康寿命（日常生活に制限のない期間の平均）が延伸する。

#### 数値目標

健康寿命（お達者年齢）  
男性 79.67歳  
女性 84.38歳  
（2024年）  
（2019-2023年の平均）

### III ひとを呼び込み活力創生

#### 取組みの方針

様々なニーズに対応したきめ細やかな移住支援、魅力的な住環境整備等を推進します。  
そして、市全体の振興に資する新たな観光振興策を推進し、都市圏等や海外からの人の流れをさらに促進します。

#### 目指す目標

- ①転入者が転出者を上回る
- ②観光客数が増加する

#### 数値目標

- ①移住施策を活用した転入者数  
1,150人  
（2020年度～2024年度5年間の累計）
- ②観光入込客数  
1,400千人（2024年）

### IV 仕事をつくり活力創生

#### 取組みの方針

企業誘致（増設を含む）を積極的に推進します。  
そして、商工業、農林水産業の振興を図り、ふるさと納税も積極的に推進します。  
さらに、女性や高齢者など多様な人材が活躍できる就労支援を行います。

#### 目指す目標

市内における雇用の維持と創出が図られる。

#### 数値目標

- ①企業誘致件数（増設を含む）  
3件（2020年度～2024年度5年間の累計）
- ②雇用創出者数  
2,150人  
（2020年度～2024年度5年間の累計）

### V 基盤を整え活力創生

#### 取組みの方針

道路、公共交通、上下水道などインフラ整備の長寿命化とあわせて、災害に強い、安全・安心のための基盤を整えます。  
そして、地域で支えあい、地域の主体的な取組みを積極的に支援します。

#### 目指す目標

安全・安心に暮らせ、支えあい、交流できる地域づくりが市民とともに進められる。

#### 数値目標

本目標はI～IVを実現する基盤づくりにあることから、本目標の達成はI～IVの数値目標の達成に含まれるものとし、定量的な数値目標は設定しない。

## 第1章 重点戦略プロジェクト

### (第2期豊後高田市まち・ひと・しごと「活力」創生プラン)

国は、人口減少問題の克服と地域活性化を目指し、平成26年12月に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、地方創生の取組を本格化させました。これを受け、本市においても平成27年10月に「豊後高田市まち・ひと・しごと“全力”創生プラン」(以下、第1期創生プラン)を策定しました。第1期創生プランは、本市が将来にわたって「住みたいまち」「住み続けたいまち」として発展を遂げるための総合戦略であり、第2次豊後高田市総合計画においては、この創生プランを重点戦略プロジェクトと位置づけ、地方創生に向けた取組を実施してきました。

この第1期創生プランが計画期間満了することを受け、令和2年3月に「豊後高田市まち・ひと・しごと“活力”創生プラン」(以下、第2期創生プラン)を策定しました。第2期創生プランにおいても、本市が将来にわたって「住みたいまち」「住み続けたいまち」として発展を遂げるための総合戦略であることに変わりはありませんが、改めて「地域の活力は人である」との考えを市政推進の基本に据え、このまちに確かな未来を創るために、第1期で得られた効果のさらなる拡大、解決すべき課題への着実な対策、社会動向に応じた対応を総合的及び横断的に展開し、重点戦略プロジェクトとして推進します。

また、第2期創生プランの策定を受け、第2次豊後高田市総合計画の重点戦略プロジェクトも更新を行い、一体的なまちづくりの推進を図るものとします。

#### 【第2期創生プランにおける目標】

**大目標** このまちに確かな未来を～地域の活力は『人』～

第1期創生プランで進めた全国トップレベルの子育て支援や直接的な移住定住施策をはじめとした市全体の各分野各施策すべての総合的な効果として社会増が達成されました。しかし、その効果は大きな前進ではありますが、まだまだ安心できるものではありません。本市が将来にわたって「住みたいまち」「住み続けたいまち」として発展を遂げるためには、やはり市民一人一人がいきいきと暮らす活力が重要で、地域の活力そのものです。確かな未来を創るために、第1期創生プランの効果をもっと成長させていくことが第2期創生プランの大目標です。

**目標人口 令和42年(2060年)に17,000人程度を維持**

## I ひとを育み活力創生

### ■取組みの方針

全国トップレベルの子育て支援を継続し、ライフステージに応じた結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を行います。

さらに、市の未来を担う子どもの教育をさらに充実します。

### ■目指す目標

- ①より多くの人の子育ての希望が叶えられる
- ②児童生徒が知・徳・体を育み、Society5.0（ソサエティ5.0）社会に対応する力を身に付ける。

### ■数値目標

#### ①合計特殊出生率

	基準値（令和元年） （2019年） 2014-2018年の平均	目標値（令和7年） （2025年） 2020-2024年の平均
合計特殊出生率	1.62	1.83

※大分県に準じて設定

※結婚や出産については、個人の考え方や価値観が尊重されることが大前提であり、この目標は個人に対するものではなく、社会全体での達成を目指すものです。

#### ②教育関連事業の目標値

	基準値（令和元年度） 2019年度	目標値（令和6年度） 2024年度
①児童生徒の学力 （全国学力学習状況 調査平均正答率）	小学校：国語 72.0% （全国平均 64.0%） 算数 67.0% （全国平均 67.0%） 中学校：国語 77.0% （全国平均 73.0%） 数学 62.0% （全国平均 60.0%）	全国平均を 全ての教科で上回る

②児童生徒の体力 (全国体力・運動能力調査総合評価C以上の割合)	小学校：男子 92.8% 女子 86.0% 中学校：男子 81.1% 女子 93.2%	小学校：男子 94% 女子 87% 中学校：男子 82% 女子 94%  (直近の体力調査結果から設定)
③英語検定3級以上取得の中学生の割合	60%	65%  (直近の学力調査結果から設定)
④児童生徒の授業における「タブレット端末」活用頻度(毎日一回以上活用) ※1	小学校：0% 中学校：0%	小学校：100% 中学校：100%
⑤児童生徒の授業評価で「主体的で対話的で深い学び」に関する項目で肯定的な回答	94%	95%  (学力向上アクションプランで設定している)
⑥運動好きな児童生徒の割合	小学校：男子 97.5% 女子 86.1% 中学校：男子 93.4% 女子 73.8%	小学校：男子 95% 女子 90% 中学校：男子 95% 女子 80%  (体力向上アクションプランで設定している)
⑦大分県体力調査において、全国平均値以上である項目の割合	70.1%  (101/144項目)	80%  (115/144項目)

※教育関連事業の目標値について

創生プランの目標は長期目標であり、各学年の実態に応じた短期目標は学力向上アクションプラン等で設定する。

※1 令和4年11月17日に開催した総合戦略会議において変更。変更理由は263-1、263-2 ページ記載のとおり

## Ⅱ ひとを大事に活力創生

### ■取組みの方針

いつまでも健康で長生きしましょう！を合言葉に、健康なまちづくりを市民総ぐるみで強力に推進します。

### ■目指す目標

より多くの人々の健康寿命（日常生活に制限のない期間の平均）が延伸する

### ■数値目標

健康寿命

	基準値（平成30年） （2018年） 2013-2017年の平均	目標値（令和6年） （2024年） 2019-2023年の平均
健康寿命 （お達者年齢）	男性：78.23歳 女性：83.38歳	男性：79.67歳 女性：84.38歳

※大分県に準じて設定

※大分県のお達者年齢の定義は、

要介護2以上の認定を受けてない人を健康とみなして算出している。

### 【目標値算出根拠】

<p>大分県「総合戦略」</p> <p>【KPI:健康寿命(日常生活に制限のない期間の平均)】</p> <p>令和6年度目標 男性73.75歳 女性77.03歳</p> <p>【H30実績 男性71.54歳 女性75.38歳】</p> <p>■伸び 男性2.21歳 女性1.65歳</p>
<p>豊後高田市</p> <p>Ⅱ ひとを大事に活力創生</p> <p>【KPI:健康寿命(お達者年齢)】※令和6年(令和元年度～5年度平均)</p> <p>令和6年度目標 男性79.67歳 女性84.38歳</p> <p>【H30実績 男性78.23歳 女性83.38歳】</p> <p>■伸び 男性1.44歳 女性1.00歳</p> <p>※算出根拠</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・大分県の総合戦略では、令和6年度の健康寿命の目標を現行より男性は2.21歳、女性は1.65歳伸ばすことを目標としている。</li><li>・各市町村の健康寿命の年齢は、統計上では不明のため、県が毎年公表しているお達者年齢を指標として設定する。</li><li>・お達者年齢が5か年の平均であるため、県の実績から目標までの伸びから5か年平均を算出し、実績値に足したものである。（大分県のお達者年齢の定義は、要介護2以上の認定を受けてない人を健康とみなして算出している）</li></ul>

### Ⅲ ひとを呼び込み活力創生

#### ■取組みの方針

様々なニーズに対応したきめ細やかな移住支援、魅力的な住環境整備等を推進します。

そして、市全体の振興に資する新たな観光振興策を推進し、都市圏等や海外からの人の流れをさらに促進します。

#### ■目指す目標

- ①転入者が転出者を上回る
- ②観光客数が増加する

#### ■数値目標

##### ①移住施策を活用した転入者数

	基準値（平成 30 年度） 2018 年度	目標値（令和 6 年度） 2024 年度
移住施策を活用した転入者数	275 人／年	1,150 人 (5 年間の累計)

※年間に、人口の約 1%の転入者数を見込んで目標を設定  
(目標値設定の令和 2 年 2 月末時点人口 22,600 人)

##### ②観光入込客数

	基準値（平成 30 年） 2018 年	目標値（令和 6 年） 2024 年
観光入込客数	1,300 千人／年	1,400 千人／年

※下記事業等の取組み及び点から面への広域的な観光振興により、令和 6 年に 140 万人/年を見込んで目標を設定

- ・長崎場リゾートキャンプ場リニューアル（デジタルアートギャラリー等）
- ・昭和の町リ・ブランディング事業
- ・昭和の町誕生 20 周年
- ・昭和の町新拠点施設オープン

## IV 仕事をつくり活力創生

### ■取組みの方針

企業誘致（増設を含む）を積極的に推進します。

そして、商工業、農林水産業の振興を図り、ふるさと納税も積極的に推進します。

さらに、女性や高齢者など多様な人材が活躍できる就労支援を行います。

### ■目指す目標

市内における雇用の維持と創出が図られる

### ■数値目標

#### ①企業誘致件数（増設を含む）

	基準値（平成 30 年度） 2018 年度	目標値（令和 6 年度） 2024 年度
企業誘致件数 （増設を含む）	6 件 （5 年間の累計）	3 件 （5 年間の累計）

※ 2年に1件の誘致を見込んで目標を設定

#### ②雇用創出者数

	基準値（平成 30 年度） 2018 年度	目標値（令和 6 年度） 2024 年度
雇用創出者数	583 人／年	2,150 人 （5 年間の累計）

※年間 430 人の雇用創出者数を見込んで目標を設定

※目標設定時点（令和 2 年 2 月末時点）の雇用情勢を考慮し、有効求人倍率が近い平成 27 年実績の雇用創出水準（454 人/年）の維持を見込む

※生産年齢人口が減少（今後 5 年間で約 8 %減）する中でも、女性や高齢者など多様な人材の雇用の場を創出することで、年間雇用創出者数の目標は平成 27 年実績の 5%減程度に維持できると見込む（454 人(H27)×95%=431 人）  
（生産年齢人口の今後の推移）

平成 27 年国勢調査実績(2015):11,837 人

令和 2 年社人研推計（2020）:10,716 人(H27 から△1,121 人△9.4%減)

令和 7 年社人研推計（2025）:9,867 人(R2 から△849 人△7.9%減)

## V 基盤を整え活力創生

### ■取組みの方針

道路、公共交通、上下水道などインフラ整備の長寿命化とあわせて、災害に強い、安全・安心のための基盤を整えます。

そして、地域で支えあい、地域の主体的な取組みを積極的に支援します。

### ■目指す目標

安全・安心に暮らせ、支えあい、交流できる地域づくりが市民とともに進められる。

### ■数値目標

本目標はⅠ～Ⅳを実現する基盤づくりにあることから、本目標の達成はⅠ～Ⅳの数値目標の達成に含まれるものとし、定量的な数値目標は設定しないこととします。



◎令和4年11月17日に開催した総合戦略会議にて決定

<「④市調査での平均正答率が7割を超える学校」目標の変更について>

(変更前)

	基準値 (令和元年度) 2019 年度	目標値 (令和6年度) 2024 年度
④市調査での平均 正答率が7割を超 える学校	小学校：算数 80% 中学校：数学 67% 英語 67%	小学校：算数 80% 中学校：数学 80% 英語 80% (学力向上アクションプランで設 定している)

(変更後)

	基準値 (令和元年度) 2019 年度	目標値 (令和6年度) 2024 年度
④児童生徒の授業 における「タブレ ット端末」活用頻 度 (毎日一回以上 活用)	小学校：0% 中学校：0%	小学校：100% 中学校：100%

(変更理由)

変更前の目標は、市の学力調査結果を目標値としていました。しかし、この調査は年度ごとに調査問題の選定を行うため、問題の難易度にばらつきが生じるという理由から、定量的な数値目標の設定が難しい状況となっています。加えて、学力に関しては、①の目標で設定しているという状況もあります。

また、令和2年度から本格的に始まった国のGIGAスクール構想の中、すべての児童生徒に一人一台の端末を配布し、授業や家庭学習の中でICTを使いこなす力をつけることが加速度的に求められています。

さらに、市の未来を担う子どもの教育を推進する方針の中でも、めざす目標を「児童生徒が知・徳・体を育み、Society5.0 (ソサエティー5.0) 社会に対応する力を身に付ける」としています。ソサエティー5.0社会とは、情報が経済的な発展のための道具から、環境面や人の暮らしも含めた社会基盤を支える道具になる社会です。そのような社会を生きる児童生徒には、ICTを文房具のように使いこなす力を身に付ける必要があります。

本市の現状として、令和3年度、4年度の全国学力学習状況調査の質問紙において、小学校では「5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか。」、中学校では「1, 2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。」という項目に対し、ほぼ毎日、週一回以上と回答した児童生徒は、下表のとおり県・全国よりも活用頻度が高くなっています。これは、タブレット端末導入時、多くの課題が懸念されましたが、「使いながら、生じる課題を解決していく」という方針で、実施してきた成果であると考えています。

今後、さらにICTを効果的に活用する力を身に付けさせていく取組を行ってまいります。

目標変更日：令和4年11月17日

## 具体的施策

# I ひとを育み活力創生

KPI			施策
指標	現況値	目標値	
合計特殊出生率	1.62 (令和元年) (2019年) 2014-2018 年の平均	1.83 (令和7年) (2025年) 2020-2024 年の平均	<b>1. 子供を産み育てやすい環境づくり</b> <b>(1) 次代を担う子供を社会全体で育む環境の整備</b> 子育て世帯の経済的負担の軽減 ①市内保育園の保育料・給食費の完全無料化 ②市内幼稚園の授業料・給食費の完全無料化 ③小・中学校の給食費の無料化 ④0歳から高校生までの医療費無料化 ⑤児童発達支援等の利用料の無料化 ⑥最大100万円「子育て応援誕生祝い金」の支給 ⑦妊産婦医療費の無料化 ⑧ひとり親医療費の助成 ⑨任意予防接種の追加助成（不活化ポリオワクチン、三種混合ワクチン等） 地域における子育て支援の充実 ①NPO法人アンジュ・ママンと連携した地域子育て支援拠点「花っこルーム」の充実 ②「子育てママの相談窓口」による子育てサービスや就労情報の一元化 ③地域で子育てを相互に助け合うファミリー・サポート・センターの運営 ④子育て支援ポータルサイト「いいKAMO」等によるきめ細やかな情報提供（リニューアル） ⑤処遇改善による保育人材等の確保と質の向上 ⑥保育士、子育て支援員等の人材育成に係る支援 子育て・仕事が両立できる環境づくり ①放課後児童クラブの運営による子どもの居場所の確保 ②病児保育、病後児保育、一時保育等、多様なサービスの提供 （拡充：花っこルーム香々地での一時預かり） ③保育ニーズに対応した新たな保育施設の確保 ④ショートステイ・トワイライトステイの実施 ⑤広域連携による夜間保育などの充実 子育ての悩み・不安の解消など、虐待の予防体制の充実 ①子ども家庭総合支援拠点による総合相談体制の構築 ②家庭児童相談員・母子自立支援員の配置 ③市・児童相談所その他の機関とで構成する「要保護児童対策地域協議会」による見守り・支援 障がい児等の支援の充実 ①児童発達支援等障がい児支援事業の充実
① 児童生徒の 学力（全国学力 学習状況調査 平均正答率）	① 小学校 国語 72.0% (全国平均 64.0%) 算数 67.0% (全国平均 67.0%) 中学校 国語 77.0% (全国平均 73.0%) 数学 62.0% (全国平均 60.0%) (令和元年 度)	① 全国平均 を全ての 教科で上 回る (令和6年 度)	
② 児童生徒の 体力（全国体力・ 運動能力調査 総合評価C以上の 割合）	② ・小学校 男子 92.8% 女子 86.0% ・中学校 男子 81.1% 女子 93.2% (令和元年 度)	② ・小学校 男子 94% 女子 87% ・中学校 男子 82% 女子 94% (令和6年 度)	
③ 英語検定3級以上 取得の中学生の割 合	③ 60% (令和元年 度)	③ 65% (令和6年 度)	
④ 市調査での 平均正答率が 7割を超える 学校	④ ・小学校 算数 80% ・中学校 数学 67% 英語 67% (令和元年 度)	④ ・小学校 算数 80% ・中学校 数学 80% 英語 80% (令和6年 度)	
⑤ 児童生徒の授業評 価で「主体的で対 話的で深い 学び」に関する 項目で肯定的な 回答	⑤ 94% (令和元年 度)	⑤ 95% (令和6年 度)	
			<b>(2) 結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援の推進</b> <b>結婚に向けた機運の醸成</b> ①お世話人研修・養成講座の実施 ②独身男女の出会いの場の創出 ③新婚世帯の支援 ④ステップファミリー（再婚）の支援 ⑤オリジナル婚姻届や出生届等記念版の配布 <b>健やかな妊娠と出産を支える環境づくり</b> ①妊娠期の健康診査費用の助成 ②妊産婦医療費の無料化 ③不妊、不育治療費の助成 ④妊産婦・乳幼児の保健指導の実施 <b>母子の健康保持と安心して子育てできる環境づくり</b> ①子育て世代包括支援センターによる総合的な相談・支援の実施 ②乳児全戸訪問事業の実施

目標（活動指標）			
指標	現況値	目標値	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
会員登録数	418 人	500 人	
サイトアクセス数	39,270 件	60,000 件	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
新たに確保した民間保育施設数	0 箇所	1 箇所	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
拠点箇所数	0 箇所	1 箇所	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
支援センター設置箇所数	0 箇所	1 箇所	
訪問実施率	95.7%	95%	

KPI			施策
指標	現況値	目標値	
⑥ 運動好きな児童生徒の割合	⑥ ・小学校 男子 97.5% 女子 86.1% ・中学校 男子 93.4% 女子 73.8% (令和元年度)	⑥ ・小学校 男子 95% 女子 90% ・中学校 男子 95% 女子 80% (令和6年度)	③乳幼児健康診査の実施
			④小児科医・産婦人科連携によるペリネイタル・ピジット事業の実施
⑦ 大分県体力調査において、全国平均値以上である項目の割合	⑦ 70.1% (101/144項目) (令和元年度)	⑦ 80% (115/144項目) (令和6年度)	<b>2. 夢を描き実現できる“ぶんごたかだっ子”の育成</b>
			(1) 知・徳・体を総合的に育む学校教育の推進
			確かな学力の育成
			①各校学力向上プランの作成・実施
			②学力向上プロジェクト会議の開催
			③協調学習研究校指定
			④豊後高田市学力定着状況調査の実施
			⑤「学びの21世紀塾」土曜日寺子屋講座の実施
			⑥「学びの21世紀塾」水曜日講座の実施
			⑦「学びの21世紀塾」放課後児童クラブ学習支援の実施
			豊かな心の育成
			①部落問題学習を核とした人権学習公開研究会の実施
			②人間関係づくりプログラムの実施
			③学校図書館を活用した授業の実施
			④「学びの21世紀塾」わくわく体験活動の実施
			健康・体力づくりの推進
			①体力アップタイム（1校1実践）の実施
			②体育専科教員等公開授業実施
			③小中合同体育主任会の開催
			④栄養教諭等と連携した「食育」授業の実施
			⑤フッ化物洗口の実施
			⑥地元食材を使用した給食の提供
			⑦「学びの21世紀塾」のびのび放課後活動の実施
			保幼小中高校種間連携の推進
			①保幼小・小中・中高連携会議の実施
			②校種間乗り入れ授業の実施
			学校・園の施設設備の充実
			①老朽化した施設における点検及び計画的な大規模改修
			②学校ICT化に向けた環境整備
			特別支援教育の推進
			①特別支援教育研修会の実施
			②特別支援教育支援員の配置
			③特別支援教育アドバイザーの派遣
			④「学びの21世紀塾」まなびのひろば実施
			幼児教育の充実
			①ネイティブスピーカーによる英会話教室・HAPPY TIMEの実施
			②体操教室・文字教室の実施
			③公開授業の実施
			④「学びの21世紀塾」幼稚園講座の実施

目標（活動指標）			
指標	現況値	目標値	
診査受診率	4 力月 94.1% 1 歳 6 力月 96.1% 3 歳 6 力月 86% 5 歳 88.4%	95%	
継続実施	—	—	
P D C A 実施回数	2 回	3 回	
会議開催回数	9 回	1 0 回	
公開授業実施回数	2 回	4 回	
継続実施	—	—	
実施回数	2 回	4 回	
継続実施	—	—	
実施回数	各学級 1 回	各学級 2 回以上	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
実施回数	2 回	3 回	
実施回数	2 回	2 回	
実施回数	各校 1 回	各校 1 回	
継続実施	—	—	
実施回数	月 1 回	月 1 回	
継続実施	—	—	
①保幼小・小中②中高の連携会議回数	①年 2 回 ②年 3 回	①年 2 回 ②年 3 回	
実施回数	各校 1 回	各校 1 回	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
実施回数	2 回	3 回	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
実施回数	毎日	毎日	
実施回数	週 1 回	週 1 回	
実施回数	3 回	3 回	
継続実施	—	—	

KPI			施策
指標	現況値	目標値	
			(2) Society5.0 の社会を生き抜く力の育成
			読解力・英語力（語学力）の育成
			①読解力を高める授業、読書活動の実施
			②外国語指導助手（ALT）の積極的活用
			③英語検定の受検者に対する助成制度の実施
			④スコア型英語検定 G T E C の実施（中学 2 ・ 3 年生）
			⑤「学びの 2 1 世紀塾」英会話講座、イングリッシュ・キャンプの実施
			情報活用能力の育成
			① I C T を活用した授業の実施
			②プログラミング学習の実施
			③「学びの 2 1 世紀塾」パソコン講座の実施
			豊後高田市への深い理解の促進
			①郷土学習の推進（郷土の歴史・文化出前講座の実施）
			②郷土に関する教材を活用した学習の実施
			(3) 地域力を活かした安心安全な学校づくりの推進
			地域とともにある学校づくりの推進
			①学校運営協議会の開催
			②地域人材を活用した教育活動の実施
			安心安全な学校づくりの推進
			①スクールカウンセラーの配置
			②スクールソーシャルワーカーの派遣
			③通学路合同点検の実施
			(4) 「協育」ネットワークを活用した学び合いの推進
			社会全体の「協育」力の向上
			①「協育」ネットワークの向上
			②子育てに関する講座開催・情報発信
			多様な学習活動への支援
			①学習活動の拠点としての社会教育施設の充実
			②豊かな体験活動の実施
			③地域人材の発掘・育成
			青少年の健全育成
			①さわやかあいさつ運動の推進
			②家庭教育支援事業の実施
			③青少年健全育成の啓発活動の実施

目標（活動指標）			
指標	現況値	目標値	
継続実施	—	—	
ICT を活用した授業回数	週に3回	1日1回以上	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
開催回数	各校4回	各校4回以上	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
実施回数	各校1回	各校1回以上	
学校支援地域本部事業実施件数	1,914件	1,900件	
講座参加者数	81名	190人	
継続実施	—	—	
わくわく体験活動延べ参加者	2,355人	2,780人	
継続実施	—	—	
あいさつ運動推進大会の参加者	300人	300人	
広報紙の作成回数	年4回	年4回	
継続実施	—	—	

## Ⅱ ひとを大事に活力創生

KPI			施策
指標	現況値	目標値	
健康寿命 (お達者年齢)	男性 78.23	男性 79.67	<b>1. 市民総ぐるみの健康なまちづくりの推進</b> <b>(1) 健康な状態での取組み</b> <b>運動教室の取組み</b> ①スポーツに取り組む子供たちの支援 ②健康づくり教室推進事業(運動)の実施 ③介護予防教室(通所:はつらつ健脚教室)の実施 ④介護予防教室(通所:ハイカラサロン)の実施 ⑤理学・作業療法士が地域サロン等に訪問する地域づくり専門職派遣事業の実施 <b>予防・支援の取組み</b> ①乳幼児健診等の実施 ②国保特定健康診査の実施(うち新規:特定健診と合わせた「尿中塩分測定」の実施) ③国保特定保健指導の実施 ④健診結果の数値が基準値外の方への医療機関への受診勧奨(拡充: 血圧測定器貸出) ⑤糖尿病性腎症重症化予防の実施(拡充: みんな deHM(ヘルスマネジメント)教室) ⑥慢性腎臓病予防の実施 ⑦U40 健診の実施 ⑧胃がん検診の実施 ⑨子宮頸がん検診の実施 ⑩肺がん検診の実施 ⑪大腸がん検診の実施 ⑫乳がん検診の実施 ⑬歯周病検診の実施 ⑭いきいき健康相談 ⑮特定健診未受診者訪問の実施(うち新規: 55 歳未受診者訪問) ⑯あたまの健康チェック、フレイルチェック(地域サロン) ⑰地域サロンを活用した介護予防・認知症予防の推進(「地域で健康づくり」応援事業) ⑱地域サロンに派遣する運動推進員の養成(「地域で健康づくり」応援事業) ⑲こころの体温計の利用促進 <b>食事面の取組み</b> ①天然だし「豊後高だし」を活用した減塩運動の推進(拡充: 高血圧予防対策として普及啓発) ②ケーブルテレビを活用した減塩番組の放送 ③「減塩・野菜たっぷりレシピ」の普及啓発 ④健康づくり教室推進事業(食)の実施 ⑤子どものころからのうす味・野菜摂取の普及啓発 ⑥青年期のヘルシーレシピを活用した食の健康教室の実施 ⑦食の健康応援店推進事業 ⑧複合型【口腔・栄養】訪問指導の実施 ⑨複合型[運動・口腔・栄養]介護予防教室(通所: きらきら健幸教室)の実施 ⑩専門職(理学・作業療法士、管理栄養士、歯科衛生士等)が関与する通いの場づくり
	女性 83.38	女性 84.38	
	(2018年) 2013-2017年の平均	(2024年) 2019-2023年の平均	

目標（活動指標）			
指標	現況値	目標値	
継続実施	—	—	
参加者数	62 地区	72 地区	
参加者数	80 人	80 人	
参加者数	220 人	220 人	
訪問地域	10 地域	10 地域	
継続実施	—	—	
特定健診受診率	50%	52%以上	
特定保健指導終了率	61%	63%以上	
医療機関受診率（高血圧症）	55.8%	60%	
保健指導実施率	92.2%	92.2%以上	
保健指導実施率	69%	70%	
受診者の増加	151 人	151 人以上	
40 歳から 69 歳までの受診率	8%	20%	
20 歳から 69 歳までの受診率	16.5%	40%	
40 歳から 69 歳までの受診率	16.8%	40%	
40 歳から 69 歳までの受診率	11.5%	30%	
40 歳から 69 歳までの受診率	21.3%	40%	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
訪問実施率（健康状況把握率）	67.7%	70%	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
養成された運動推進員数	9 人	34 人	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
実施地区数	37 地区	47 地区	
教室実施学級数	—	—	
参加者数	72 人	72 人以上	
認定ヘルシーメニュー提供店舗数	8 店舗	8 店舗以上	
訪問者数	75 人	75 人	
参加者数	55 人	55 人	
実施団体数	—	1 団体	

KPI			施策
指標	現況値	目標値	
			啓発その他の取組み
			①健康マイレージ事業の実施（リニューアル）
			②ウォーキングコースを活用した「ぶんごたかだ健康ウォーク」の実施
			③ウォーキング推進事業の実施
			④ラジオ体操事業の実施
			⑤豊後高田健康大学の実施
			⑥健康アプリ「おおいた歩得」の普及
			⑦働き盛り世代へのインセンティブ制度の検討
			⑧市版チャレンジデー
			⑨全力健診中定期による健診・がん検診の受診勧奨
			⑩健幸セミナーの開催
			⑪禁煙・受動喫煙の啓発
			(2) 心身が少し衰えた状態での取組み
			運動教室の取組み
			①介護予防通所教室（通所：元気アップ教室）の実施
			②元気アップ教室終了後の継続支援型通所教室の実施
			予防・支援の取組み
			①介護予防対象者の調査と教室参加呼びかけ
			②多職種連携による地域ケア会議
			(3) 要介護状態での取組み
			予防・支援の取組み
			①各種介護サービスの提供
			②医師が参加する地域ケア会議
			(4) 社会インフラの整備と利用促進等の推進
			社会インフラ整備と利用促進等の推進
			①ウォーキングロードの点検整備
			(5) スポーツの振興
			持続的取組みを支える社会環境の整備
			①地域での健康づくりやスポーツ振興に取り組む団体（総合型地域スポーツクラブ等）の活動支援
			②市民団体や関係機関との連携による推進体制の構築
			③既存施設の点検・整備の定期的な実施
			④学校体育施設の積極的な開放
			⑤競技スポーツ強化のためのスポーツ教室の開催
			⑥スポーツに取り組む子供たちの支援
			⑦各種スポーツ大会の開催

目標（活動指標）			
指標	現況値	目標値	
応募者数	603 人	900 人	
参加者数	1,455 人	1,800 人	
参加者数・参加グループ数	157 人 20 グループ	350 人 60 グループ	
実施グループ数	65 グループ	75 グループ	
健康大学受講者数	408 人	600 人	
アプリ登録者数	524 人	720 人	
継続実施	—	—	
参加者数	200 人	200 人	
改善率	70%以上	70%以上	
実施事業所数	3 事業所	3 事業所	
実施事業所数	3 事業所	3 事業所	
調査回答率	平成 29 年度 83.7%	令和 2 年度 83.7%以上	
開催数	年 18 回以上開催 70 ケース以上	年 18 回以上開催 70 ケース以上	
介護保険事業計画に基づき実施	—	—	
開催数	年 2 回以上開催 4 ケース以上	年 2 回以上開催 4 ケース以上	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	

### Ⅲ ひとを呼び込み活力創生

KPI			施策
指標	現況値	目標値	
移住施策を活用した転入者数	275人 /年 (平成30年度実績)	1,150人 (5年間の累計) (令和6年度)	<b>1. 移住・定住の促進</b> (1) 戦略的なPRの推進 シティプロモーションの推進 ①IJU支援サイトの更新 ②移住動画の作成 ③都市部での移住フェア参加 (2) 支援体制の整備と充実 相談・支援体制の充実 ①ガイドブックの整備 ②移住者懇話会の実施 ③お試し居住施設の利用補助 ④レンタカー補助 支援団体との連携 ①田舎体験プログラムの実施 ②交流会の実施(楽しい暮らしサポーターズ事務局) (3) 住環境整備の推進 空き家の利活用の促進 ①空き家紹介者に対する奨励金(空き家バンク登録物件の確保) ②空き家リフォーム補助 ③空き家仲介手数料補助 ④空き家を利用した拠点施設整備に対する補助 住まいの確保に対する支援の充実 ①住宅取得奨励金 ②民間住宅のリフォーム支援 ③引越し費用の助成 ④家賃補助 市営住宅、定住促進住宅団地の整備等の促進 ①無償宅地の販売 ②世代に合った市営住宅の提供(ハピネスステージ・住まいるハウス・エミール城台) 魅力的な中心市街地の整備促進 ①道路及び歩道の改良整備 ②市民に愛され利用される中心商店街づくり
	観光入込客数	1,300千人 /年 (平成30年度実績)	
			<b>2. 心いやす郷づくり</b> (1) 移住者が夢を持って暮らせる心豊かな「心いやす郷づくり」の推進 夢をもって暮らせる地域づくり ①地域振興に取り組む活動支援団体の支援や育成 ②都市部との交流イベントなどの開催 移住促進を図るための居住空間の整備 ①古民家の再生と地域の拠点化に向けた復原 ②移住者の居住の場となる空き家の確保と改修の推進

目標（活動指標）			
指標	指標	指標	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
フェア参加	年 11 回	年 6 回	
継続実施	—	—	
実施回数	年 1 回	年 1 回	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
実施回数	年 1 回	年 1 回以上	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
無償宅地の販売	—	令和 4 年度完売	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
新規創業件数	5 件	5 件	
継続実施	—	—	
農都交流の実施	年 1 回	年 1 回	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	

KPI			施策値
指標	現況値	目標値	
			<b>3. 観光・ツーリズムの振興</b>
			<b>(1) 海外誘客と国内誘客の推進</b>
			海外誘客（インバウンド）促進の強化
			①主要ターゲット国毎に応じたインバウンド向け地域資源の評価、商材の開発及びアプローチ
			②グリーンツーリズムを活用した訪日教育旅行の誘致
			③インバウンド対応ガイドの育成及びAR、VR等を活用したガイド機能の整備
			④海外におけるマーケティング調査及び商談会を通じたPR活動
			⑤昭和の町手のひら案内人、AR、VR等のICTを活用した観光案内など受入態勢の強化
			国内誘客促進の強化
			①昭和の町誕生20周年を契機とした商店街における誘客イベントの実施 (昭和の町リ・ブランディング事業)
			②昭和ロマン蔵リニューアルの検討及び昭和の町新拠点施設等を活用した誘客イベントの実施
			③長崎鼻パーフェクトビーチ事業等新たな観光素材を活用した誘客事業の実施
			④ヘルスツーリズム、リトリートツーリズム等、新たな体験型観光の開発及び誘客事業の実施
			⑤グリーンツーリズムなどを活用した教育旅行・一般客の誘致
			⑥長崎鼻リゾートキャンプ場、スパランド真玉等を活用したMICE誘致
			⑦「障がい者」「高齢者」など誰もが安心して観光できる「バリアフリー観光」の推進
			⑧超小型モビリティの活用等、二次交通対策による市内観光地のネットワーク化
			⑨真玉・香々地エリアにおける新たな観光拠点施設の整備
			広域連携の強化
			①六郷満山文化を活用した国東半島における周遊型・滞在型観光推進のためのPR事業等の実施
			②「豊の国千年ロマン観光圏」での周遊型・滞在型観光のPR事業等の実施
			③「ツーリズムおおいた」のスケールメリットを活用した商談会等の参加、PR事業の実施
			④各種広域観光振興協議会と一体となった周遊型・滞在型観光推進のためのPR事業の実施
			観光誘客推進体制の整備
			①多言語対応メディア（パンフレット・ウェブサイトなど）による情報発信
			②SNS・ICTを効果的に活用した多様な情報発信
			<b>(2) 地域特性を活かした観光振興</b>
			観光人材の育成・確保
			①ICTを活用したインバウンド観光客受入体制の拡充
			②観光誘客推進体制の整備強化
			豊後高田市ならではの素材磨きによるブランドイメージの確立
			①昭和の町ブランド力の向上のための「4つの再生」再構築(昭和の町リ・ブランディング事業)
			②恋叶ロードブランド力強化のため、ストーリー性のある周遊観光の開発・整備
			③「くにさき六郷温泉」の一体的なPRの強化及び「新・湯治」を活用した誘客事業の実施
			④「六郷満山文化」を核とした国東半島地域のブランドイメージ強化ため、首都圏でのPR事業の実施
			⑤長崎鼻リゾートキャンプにおける「パーフェクトビーチ事業」など保養型リゾートづくり
			⑥峯道ロングトレイルなどを活用した着地型旅行商品の開発及び提供
			⑦近隣自治体と連携したサイクルツーリズムの推進
			⑧ホームページ等を活用し、映画・ドラマロケ地等の魅力を情報発信
			観光消費の増大につながるサービスや商品の開発促進
			①多様な宿泊ニーズに対応できる付加価値の高い施設及びサービスなど受入れ態勢の整備
			②「食」の観光振興のため、そば、長命草、落花生等特産品を活用した健康メニューなどの開発・提供
			③新たな特徴のある土産物の開発・販売
			④自然、文化、食など本市の特徴を活かしたヘルスツーリズム、リトリートツーリズムなど滞在型観光の推進



KPI			施策
指標	現況値	目標値	
			①展望阻害樹木の伐採などによる景観再生の推進 ②SDGs に基づいた持続可能な観光振興の推進 ③観光サインの統一化 ④民間運輸業者と連携した二次交通対策の強化
			①地域資源を活用したイベントの展開
			(3) 文化財などを活用した新たな魅力づくりの推進
			郷土文化の魅力再発見
			①史跡・名勝などの新たな指定・登録に向けた取組
			②ぶんごたかだ文化財ライブラリーの発刊
			③「郷土の歴史と文化財」市民講座の開催
			地域の歴史・文化財の活用推進
			①指定文化財の活用方針を定める保存活用計画及び整備計画の策定
			②SNS を積極的に活用した情報発信
			日本遺産“鬼が仏になった里「くにさき」”の推進
			①おにぎりクラウドファンディングの推進
			②自主商品の開発や各種情報発信事業の実施
			現代アートの活用推進
			①アートを切り口とした新たな芸術文化の創出

目標（活動指標）			
指標	現況値	目標値	
観光入込客数	1,300,215 人	1,400,000 人	
市内宿泊者数	88,407 人	97,000 人	
観光入込客数	1,300,215 人	1,400,000 人	
	88,407 人	97,000 人	
指定・登録文化財数（昇格を含む）	240 件（昇格 0 件）	250 件（昇格 3 件）	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	

#### IV 仕事をつくり活力創生

KPI			施策
指標	現況値	目標値	
企業誘致件数 (増設を含む)	6件 (5年間の累計) (平成30年度)	3件 (5年間の累計) (令和6年度)	<b>1. 商工業の振興</b> <b>(1) 地域の特性を活かした商業の振興</b> 昭和の町のブランド力向上による商業振興 ①新たな観光拠点施設の整備 ②個店の外観修景による魅力アップや空き店舗への商店誘致の推進 ③創業支援施設の整備 高齢者が楽しいまちづくりの推進 ①玉津プラチナ通りの魅力向上 関係団体の連携強化 ①商工会議所、商工会と連携した店舗継続のための伴走支援 地域内経済循環の促進 ①「豊後高田市中小企業振興基本条例」に基づく取組みの推進 市民及び観光客の消費喚起と消費拡大の推進 ①地域特産品販路拡大の推進 ②市内飲食店の利用促進 ふるさと納税制度の推進 ①ふるさと応援寄付金（ふるさと納税）制度の推進 <b>(2) 戦略的・効果的な企業誘致の促進による工業の振興</b> 企業誘致及び増設の促進 ①大分北部中核工業団地を中心にした企業誘致の推進 ②既存企業の空きスペースでの増設推進 ③空き工場などの工場適地への企業誘致の推進 IT・食品産業の振興 ①IT関連企業の誘致振興とIoTによる生産性向上支援 ②食品産業の育成・支援 多様な就業者の確保対策 ①外国人技能実習生の受入環境の整備など多様な就業者の確保対策の推進
雇用創出数	538人/年 (平成30年度)	2,150人 (5年間の累計) (令和6年度)	
			<b>2. 農林水産業の振興</b> <b>(1) 生産力の強化</b> 経営基盤強化の推進 ①新規就農研修制度の運営 ②大規模な担い手対象の経営力強化支援（農業経営サポートセンター） ③健康食品製造企業と農業者のマッチングの促進（食品企業連携産地拡大推進事業） 農地の集積と整備促進 ①農地中間管理事業の推進 ②担い手等への農地集積 ③新たな白ねぎ団地の造成 ④施設園芸団地の整備 ⑤ほ場整備などの土地改良事業の推進 ⑥農業用施設の維持管理・整備 効率のかつ安定的な経営体の育成 ①最新技術・新品種の導入支援 中核的担い手の育成 ①中核的担い手の育成支援 ②女性の就農・経営への参画支援

目標（活動指標）			
指標	現況値	目標値	
昭和の町来街者数	401 千人	400 千人	
昭和の町の修景店舗数	10 件	5 件	
施設整備による新規創業者数	0 件	5 件	
継続実施	—	—	
年間の経営革新計画認定事業所数	2 件	2 件	
周知事業回数	0 回	2 回	
年間の新規取引件数	0 件	1 件	
年間の集客イベント回数	1 回	1 回	
ふるさと納税額	2.8 億円/年	5 億円/年	
誘致件数及び増設件数	6 件	3 件	
計画期間における IT 関連企業での新規就職者数	0 人	2 人	
食品産業設備投資支援	1 件	1 件	
BIC 事業協同組合を通じて受け入れを行った実習生数	22 人	20 人	
新規就農者数	累計 18 人	累計 35 人	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
白ねぎほ場再編整備面積	6.58ha	6.58ha 以上	
施設園芸団地整備面積	累計 1.5ha	累計 2.5ha	
区画整理面積	1,244ha	1,244ha 以上	
多面的機能支払交付金事業認定農用地面積	1,669ha	1,669ha 以上	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	

KPI			施策
指標	現況値	目標値	
			(2) 地域ブランド力の向上
			安全・安心の商品づくりの推進
			①特定品目・基幹品目の生産拡大及びブランド力の向上
			②各種認定制度の認証取得支援
			新たなマーケットへの挑戦
			①都市部百貨店、飲食店等での販売拡大
			②新たな流通体制の構築や、ふるさと納税制度による販路開拓
			(3) 6次産業化の推進
			生産体制の構築
			①そば・ハトムギ等の関係者連携による6次産業化体制の確立
			②そばの生産安定のための新技術導入
			新たな加工品開発と販路開拓
			①付加価値の高い商品の開発支援
			②観光まちづくり株式会社や直売所、ふるさと納税制度を活用した販路拡大支援、観光との連携
			③県物産協会と連携した各種物産展への出店促進
			(4) 循環型システムの確立による環境保全型林業の振興
			椎茸・タケノコの生産拡大及び担い手育成
			①機械導入や原木搬出路の開設など生産基盤の整備支援
			②椎茸生産者組合への加入促進
			③竹林の再整備
			農山村環境の保全の推進
			①有害鳥獣捕獲や防護柵設置の計画的な推進
			②全伐・間伐や再造林による地域材の積極的な利用促進と健全な森林の育成
			(5) 地域特性を活かした水産業の振興
			水産基盤設備の強化
			①活魚出荷施設の適正管理
			②増殖場の整備（水産環境整備事業）
			③防風柵の設置
			岬ガザミのブランド力強化と6次産業化推進による漁業所得の向上
			①地域特産品の6次産業化支援
			3. 新たな就業・雇用の場の創出
			(1) 多様な働く場の創出と支援
			女性が働きやすい多様な雇用の場の創出
			①子育て中の女性に配慮した就業環境を整備する事業者への支援
			女性の就労・雇用相談の強化
			①「子育てmama相談窓口」による相談体制の強化
			②NPOなど関係機関との連携強化による子育て支援体制の充実
			高齢者の雇用の場の確保
			①豊後高田市シルバー人材センターなどと連携した就労支援
			障がい者の雇用の場の確保
			①「障害者職業センター」、「障害者就業・生活支援センター」及び企業と連携した支援
			新卒者の人材確保
			①奨学金返済支援及びインターンシップの支援
			②学校での企業説明会開催

目標（活動指標）			
指標	現況値	目標値	
はとむぎ作付面積	20ha	30ha	
世界農業遺産米作付面積	19.5ha	20ha	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
農業加工品の開発件数	累計 12 件	累計 17 件	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
ヒジキ収穫量	19t（乾燥）	36t（乾燥）	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
年間の就労相談件数	83 件	90 件	
年間の相談窓口での就職件数	16 人	15 人	
シルバー人材センターの会員数	150 人	160 人	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
年間の大卒新規就職者数	4 人	5 人	

KPI			施策
指標	現況値	目標値	
			起業・創業の支援
			①空き店舗、空き家を活用した創業支援
			②起業希望者・ベンチャー企業に対する公的金融支援
			(2) 重層的な就職支援
			求人企業と求職者のマッチングの促進
			①企業就職説明会の開催
			②市内企業のインターンシップ受入促進
			③高校生の工場見学会の開催
			ふるさとハローワークとの連携
			①豊後高田市雇用対策協議会を核とした就労相談や就労情報の提供
			②求人情報サイト「ほっとナビ豊後高田」の活用による就業支援
			就職応援企業の情報提供
			①市内企業ガイドブックなどの作成による情報提供
			進出企業の人材確保
			①企業の新規立地や増設に際しての人材確保支援
			移住者への就職、起業支援
			①無料職業紹介所の利用促進
			(3) 農林水産業の担い手の育成と確保
			農業後継者、新規就農者等担い手の育成と確保
			①アグリチャレンジスクールの運営
			②認定農業者制度を活用した企業的農業者の育成
			③都市部での誘致活動の実施
			④農業次世代人材投資資金等の制度活用支援
			企業参入による担い手の確保
			①農業への企業参入の誘致・促進
			漁業の担い手育成支援
			①漁業近代化資金利子補給支援
			②新規漁業就業者支援事業（家賃助成）
			③新規漁業就業者支援事業（漁船等購入助成）

目標（活動指標）			
指標	現況値	目標値	
起業件数	5 件	5 件	
創業資金融資件数	平均 1.3 件/年	2 件	
継続実施	—	—	
年間のインターンシップ実施者数	4 人	5 人	
継続実施	—	—	
市内での就職件数	454/年	430 人/年	
登録者数	212 人	215 人	
掲載・協力企業	110 社	150 社	
進出に係る地元就職人数	11 名	25 人	
移住者の就労・起業支援件数	1 件	5 件	
受講生	累計 230 人	累計 300 人	
継続実施	—	—	
相談会出展回数	5 回	5 回	
新規就農者数	累計 18 人	累計 35 人	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	

## V 基盤を整え活力創生

KPI			施策
指標	現況値	目標値	
-	-	-	<b>1. 人と人の絆で結ぶ心通う地域づくり</b> <b>(1) 自治会・集落の機能維持と活性化支援</b> 地域コミュニティ形成の推進と自治会組織の活動支援 ①地域コミュニティ育成支援事業 ②集落支援員の活用 ③地域おこし協力隊などの積極的な誘致 ④愛育会組織活動の継続支援 自治会組織の体制強化 ①地域コミュニティの連携体制づくり 人々の生活支援の推進 ①高齢者等の買い物支援の実施（里の暮らし楽々安心支援事業：真玉地区エリア拡大） ②お互いを支えあう見守り・声かけ活動の推進 ③小規模集落応援隊などの支援制度の活用 地域における活動の場づくりの支援 ①集落の新たな拠点づくりの支援 暮らしを支える公共交通の確保 ①新たな交通手段の検討・整備（市内循環型乗合タクシーの構築等） ②路線バス確保維持のための利用促進（70バス） ③路線バス及び市民乗合タクシー等公共交通の確保 市民参画の地域づくり ①情報公開の積極的実施 ②パブリックコメント制度の活用 ③NPO、ボランティアの活動支援や連携強化 <b>(2) 誰もが自分らしくいきいきと活躍できる基盤づくり</b> 高齢者の活躍と地域包括ケアシステムの構築 ①高齢者の生活支援ニーズに対応したサービス提供体制の構築 ②安否確認見守りネットワークの推進 ③地域包括支援センターの設置・運営 ④介護保険サービス等の総合相談窓口の設置・運営 ⑤自立支援に向けた地域ケア会議の開催・運営 ⑥在宅医療・介護連携推進センターの設置・運営 ⑦認知症初期集中支援チーム（もの忘れ相談支援チーム）の設置・運営 ⑧生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けた生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の配置と協議体の設置・運営 ⑨地域サロンの設立 ⑩地域サロンを活用した介護予防・認知症予防の推進（「地域で健康づくり」応援事業） ⑪地域サロンに派遣する運動推進員の養成（「地域で健康づくり」応援事業） ⑫「単位老人クラブ活動の活性化支援」のための市老人クラブ連合会の運営支援 ⑬市老人クラブ連合会の運営支援 ⑭「こいこい」における文化教室への高齢者の参加支援 ⑮東天紅における高齢者の映画鑑賞等支援 ⑯玉津ブラチナ市の開催支援 ⑰玉津ブラチナ通りのトリックアートの維持管理 ⑱「認知症サポーター養成講座」の実施 ⑲SOSネットワークのメール会員（検索協力者）の募集 ⑳くにさき半島地域成年後見支援センターの運営支援

目標（活動指標）			
指標	現況値	目標値	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
市内循環型乗合タクシーの構築	—	令和2年度中の 実証実験運行実施	
70 バス利用者の向上	7,966 人	8,000 人	
バス・乗合タクシー利用者数の向上	62,110 人	65,000 人	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
1 自治会 1 サロンの設立	104 サロン	139 サロン	
継続実施	—	—	
養成された運動推進員数	9 人	34 人	
継続実施	—	—	

KPI			施策
指標	現況値	目標値	
			障がい者の活躍と自立に向けた支援の充実
			①障がい者の差別解消・権利擁護への取組強化
			②手話、点訳、音訳奉仕員養成講座の実施
			③障がい者施設等からの物品や役務の調達強化
			④グループホームや就労継続支援事業所の支援
			⑤相談支援体制の充実・強化
			⑥成年後見制度等の利用促進
			⑦手話・点字等障がいの特性に応じた多様なコミュニケーション手段の普及及び利用促進
			<b>2. 命と暮らしを守るネットワークの構築</b>
			(1) 防災力・消防力の向上
			防災体制の強化
			①地域防災計画の充実
			②地域強靱化計画の策定
			③ケーブル、災害対応支援システム等による迅速・正確な情報伝達
			④防災資機材及び備蓄物資の確保・充実
			⑤危機管理体制の充実
			⑥防災知識の普及啓発
			⑦自主防災組織等の地域住民と連携した防災マップの作成
			⑧地域防災訓練等の開催による地域防災力の向上
			⑨地域防災活動のリーダーとなる防災士の育成
			⑩防災士の連携強化
			⑪避難行動要支援者への対応強化
			⑫防災重点ため池を対象とした災害未然防止協定書の締結
			地震・津波対策の推進
			①地域防災訓練や研修会開催の推進
			②災害に備えた計画的な防災資機材の整備
			③老朽化した避難所等の施設、設備等の整備
			空き家等適正管理の推進
			①空き家等適正管理の推進
			消防体制の充実
			①消防資機材及び消防車両整備の推進
			②住宅用火災警報器の設置促進による設置率の向上
			③地域サロン及び消防訓練における防火・防災啓発
			④各種訓練による消防団活動力の強化
			救急体制の充実
			①救急救命センターとの円滑な連携による救命率の向上
			②救急救命士の救命処置技術の向上及び気管挿管認定救命士の養成
			③バイスタンダーによる AED 及び心肺蘇生法の習得による救命率の向上
			④救命講習会の開催
			⑤集団災害時における DMAT、ドクターヘリ及び防災ヘリとの円滑な連携

目標（活動指標）			
指標	現況値	目標値	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
計画の策定	—	令和2年度完成	
継続実施	—	—	
自治会での防災訓練の実施	—	100%（164自治会）	
全自治会（164）に防災士を養成	—	100%（164自治会）	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
災害未然防止協定書の締結数（対象ため池：45）	—	80%以上（36ため池）	
津波災害の避難対象自治会での地震・津波防災訓練の実施 （対象自治会：53自治会）	—	100%（53自治会）	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施 （①空き家バンク利用登録②空き家バンクの新規登録③空き家 リフォーム事業活用 ④助言・指導等による空家等の除却）	—	—	
消防車両の更新	—	令和2年度更新	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	

KPI			施策
指標	現況値	目標値	
			(2) 安全・安心な生活環境の確保
			交通安全意識の高揚
			①警察や交通安全協会等関係機関との連携による交通安全啓発の推進
			②カーブミラー等の交通安全施設の整備
			防犯体制の構築
			①特殊詐欺被害等の未然防止に向けた広報等による啓発の強化
			②LED 防犯灯等の設置による安全・安心な生活環境整備
			消費者保護の推進
			①消費生活センターによる出前講座・出前授業などの充実
			②消費生活センターと関係団体のネットワーク構築
			保健・医療サービスの充実
			①乳幼児健康診査の実施
			②妊産婦・乳幼児の保健指導の実施
			③定期接種及び任意接種の予防接種の充実
			④小児科医の常駐による小児医療の充実
			⑤国保特定健診等各種保健事業
			⑥広域連携による医療体制の整備
			⑦救急医療体制の充実
			火葬場・墓地の適正管理等の推進
			①指定管理者による効率的な運営体制の確立
			②市営墓地使用者の募集促進
			③火葬場市内使用料の無料化
			(3) 地域情報化の推進
			ケーブルネットワーク施設による情報提供の推進
			①防災情報の配信の強化
			②番組の制作充実
			進化する情報通信技術に対応したネットワーク基盤の構築
			①高度化する通信サービスの基盤の更新
			②地域振興に活用できるシステムの検討
			ICT を活用した情報バリアフリーの推進
			①安否確認・緊急通報システムの普及
			②AI や RPA の導入の検討
			(4) 社会インフラの整備・充実
			産業や生活を支える道づくりの推進
			①市道（生活道路、通学路等）の整備
			社会インフラ長寿命化対策
			①橋りょうの長寿命化修繕の実施
			②トンネルの長寿命化修繕の実施
			③道路舗装の長寿命化修繕の実施
			上水道施設の維持管理の適正化
			①計画的、効率的な管理による施設の長寿命化を推進
			下水道施設の維持管理の適正化
			①水洗化の普及促進
			②合併浄化槽の普及促進
			③下水道管渠の長寿命化
			施設バリアフリー化の推進
			①歩道の段差解消
			②ユニバーサルデザインの普及啓発

目標（活動指標）			
指標	現況値	目標値	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
診査受診率	・乳児（4か月、8か月） 94.1%・1歳6か月児 96.1%・3歳6か月児 86%・5歳児 88.4% （H30年度）	95.0%	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
ケーブルテレビ加入率	92.3%	93.1%	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
有収率の向上	89.68%	90%	
区域内の水洗化率	76.20%	80%	
法定検査受検率	81.50%	90%	
継続実施（ストックマネジメント計画の策定・実施）	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	

KPI			施策
指標	現況値	目標値	
			<b>3. 人と自然の共生</b>
			<b>(1) 自然環境の保全と環境づくり</b>
			自然環境・景観の保全
			①事業実施時における環境や景観への配慮
			②ごみゼロ健康スタンプラリーや市内一斉清掃等の開催
			③クリーンアップ清掃支援、ボランティア清掃支援の実施
			④ごみゼロGメンによるパトロール等の実施
			⑤不法投棄パトロールの実施
			生態系の保全
			①事業実施時における生態系への配慮
			②生態系に影響を及ぼす外来種についての啓発の実施
			<b>(2) 生活環境の保全</b>
			大気、水質、土壌の汚染防止
			①公害防止協定等の締結
			②ノーマイカーデーの実施やエコドライブの普及啓発の実施
			騒音、振動、悪臭の防止
			①自動車騒音等環境状況調査の実施
			②野焼きや堆肥等による悪臭等防止の啓発や指導の実施
			<b>(3) 資源・エネルギーの保全、有効利用</b>
			ごみの減量・資源化の推進
			①ごみ減量・分別説明会の開催や啓発の実施
			②生ごみの堆肥化器具の配布や普及啓発の実施
			③食品ロス削減のための啓発や30・10運動の実施
			④資源回収団体への支援の実施
			省資源・省エネルギー、地球温暖化対策の推進
			①公共施設等における再生可能エネルギーや省エネ設備の導入推進
			②省資源・省エネルギー、地球温暖化に関する講座の開催や啓発の実施
			③地球温暖化防止啓発としての打ち水大作戦の実施
			廃棄物処理施設の整備
			①新たな一般廃棄物処理施設の整備
			<b>(4) 環境教育・連携の推進</b>
			環境教育の推進
			①幼稚園、保育園、学校等での環境教育の実施
			②エンジョイ・エコクラブによる環境教育の実施
			③ごみゼロ推進大会やごみゼロナビゲートの実施
			地域での環境保全活動の推進
			①自然環境保全活動を行う団体への協力や育成支援の実施
			②環境学習やイベント等の情報提供の実施
			<b>4. 行政機能の充実</b>
			<b>(3) 様々な媒体を活用した積極的な広報の推進</b>
			効果的な情報発信の確立
			①ユニバーサルフォントを使用した大きな文字で読みやすい魅力ある市報づくり
			②市内外に向けた場面場面に応じたホームページでの積極的な発信
			③外国人の増加に対応したホームページの多言語化
			④投稿数ではなく「いいね」数を増やすフェイスブックでの情報発信
			⑤できるだけ多くの市民を紹介するケーブルテレビの番組づくり
			⑥特色ある市の施策等を紹介する自主動画制作

活動指標			
指標	現況値	目標値	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
ひとり1日あたり家庭系可燃ごみ量	453.32 g	431.65 g	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
学校等での環境学習開催回数	6回	8回	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	
1年間（1-12月）の固定アクセス数	869,751	870,000以上	
継続実施	—	—	
1投稿あたりの平均「いいね」数	219	200以上	
継続実施	—	—	
継続実施	—	—	

